

(様式例第11)

栃済支第233番号
令和 4年 10月 3日

都道府県知事 殿

住 所 栃木県宇都宮市竹林町911-1
申請者
氏 名 社会福祉法人^{恩賜}財団^{済生会}支部
栃木県済生会
支部長 小林 健二

栃木県済生会宇都宮病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和3年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒321-0974 栃木県宇都宮市竹林町911-1
氏名	社会福祉法人 ^{恩賜} 財団 ^{済生会} 支部 栃木県済生会 支部長 小林 健二

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

社会福祉法人恩賜財団済生会支部 栃木県済生会宇都宮病院

3 所在の場所

〒321-0974 栃木県宇都宮市竹林町911-1 電話 (028) 626-5500

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	床	床	床	644床	644床

5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 病床数 18 床
化学検査室	(主な設備) 全自動生化学分析装置、HbA1C分析装置、全自動化学発光免疫測定装置、全自動電気化学発光免疫測定装置、浸透圧測定装置、尿化学分析装置、遠心機、血液ガス分析装置、多項目自動血球測定装置、全自動血液凝固測定装置、赤血球沈降速度測定装置
細菌検査室	(主な設備) 同定・薬剤感受性パネル自動測定装置、血液培養自動分析装置、オートクレーブ、安全キャビネット、CO2培養器、自動分注機、インキュベーター、実体顕微鏡、顕微鏡、マルチPCR、質量分析器
病理検査室	(主な設備) パラフィン包埋ブロック作成装置、自動固定包埋装置、自動染色装置、自動免疫染色装置、プレパレート自動封入機、顕微鏡、蛍光顕微鏡、写真撮影装置、クリオスタット、プッシュプル換気装置、安全キャビネット
病理解剖室	(主な設備) 解剖台、臓器写真撮影装置、オートクレーブ、プッシュプル換気装置、遺体保管用冷蔵庫
研究室	(主な設備) PCR装置、クリーンベンチ、蛍光顕微鏡、乾熱滅菌器、超低温冷凍庫 (-80℃)、安全キャビネット
講義室	室数 4 室 みやのわホール 収容定員 360 人 他
図書室	室数 1 室 蔵所数 4,031 冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 保有台数 2 台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 42.74㎡

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されている
ことを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院 紹介率		80.8%	算定 期間	令和3年 4月 1日～令和4年 3月 31日	
地域医療支援病院 逆紹介率		91.1%			
算出 根拠	A：紹介患者の数			16,510人	
	B：初診患者の数			20,425人	
	C：逆紹介患者の数			18,597人	

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏 名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	医師		常勤	40時間/週	救急・集中治療科
2	医師		常勤	40時間/週	救急・集中治療科
3	医師		常勤	40時間/週	救急・集中治療科
4	医師		常勤	40時間/週	救急・集中治療科
5	医師		常勤	40時間/週	救急・集中治療科
6	医師		常勤	40時間/週	救急・集中治療科
7	医師		常勤	40時間/週	救急・集中治療科
8	医師		常勤	40時間/週	救急・集中治療科
9	医師		常勤	40時間/週	救急・集中治療科
10	医師		常勤	40時間/週	救急・集中治療科
11	医師		常勤	40時間/週	救急・集中治療科
12	医師		常勤	40時間/週	救急・集中治療科
13	医師		常勤	40時間/週	救急・集中治療科
14	医師		常勤	40時間/週	救急・集中治療科
15	医師		常勤	40時間/週	救急・集中治療科
16	医師		常勤	40時間/週	救急・集中治療科
17	医師		常勤	40時間/週	救急・集中治療科
18	医師		常勤	40時間/週	救急・集中治療科

19	医師		常勤	40時間/週	救急・集中治療科
20	医師		常勤	40時間/週	救急・集中治療科
21	医師		常勤	40時間/週	救急・集中治療科

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	30床
専用病床	36床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急外来	343.65m ²	(主な設備) 人工呼吸器、救急蘇生装置、セントラルモニタ	可
手術室(13室)	834.22m ²	(主な設備) 人工心肺、麻酔器、除細動器、セントラルモニタ、ダウインチ、TAVI	可
集中治療室	461.34m ²	(主な設備) 救急蘇生装置、除細動器、セントラルモニタ、人工呼吸器	可
3階西ハイケア	320.87m ²	(主な設備) 救急蘇生装置、除細動器、セントラルモニタ、人工呼吸器	可
小児集中治療室	90.5m ²	(主な設備) 救急蘇生装置、除細動器、セントラルモニタ、人工呼吸器	可
救急撮影室・CT撮影室・血管造影室	177.9m ²	(主な設備) 一般撮影装置、CT撮影装置、心カテ装置、脳アンギオ装置	可

4 備考

栃木県救命救急センター：昭和56年5月6日開院 救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）第2条第1項の規定に基づき、救急病院として認定を受けている。認定期間 令和2年8月1日～令和5年7月31日

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。
 既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した 救急患者の数	7,295人 (3,720人)
上記以外の救急患者の数	8,289人 (1,320人)
合計	15,584人 (5,040人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	2台
---------------	----

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

令和3年度の共同利用を行った医療機関の延べ数	2,971 件
これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	2,971 件
共同利用に係る病床の病床利用率	共同利用に係る病床はありません。

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

CT、MR、PET/CT、RI、超音波、内視鏡

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

- ア 共同利用に関する規定の有無 ☒ 有 ・ 無
イ 利用医師等登録制度の担当者 氏 名 :
職 種 : 事務職

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

別紙にて添付

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	0床
--------------	----

(様式例第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大抑制を図る観点および厚生労働省からの通知より、研修会は開催しておりません。
ただしWEBで開催した研修会については別添参照。

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	27回
(2) (1) の合計研修者数	1,207人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無 ☒ ・無
イ 研修委員会設置の有無 ☒ ・無
ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
	医師	脳神経外科	主任診療科長	39年	
	医師	緩和ケア科	主任診療科長	50年	
	医師	整形外科	主任診療科長	33年	
	医師	耳鼻咽喉科	主任診療科長	27年	
	医師	循環器内科	主任診療科長	21年	
	医師	小児科	主任診療科長	23年	
	医師	化学療法科	主任診療科長	24年	
	医師	放射線科	診療科長	31年	
	医師	耳鼻咽喉科	医長	18年	
	医師	耳鼻咽喉科	レジデント	5年	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要
【南館】みやのわホール	416.87㎡	(主な設備) 可動式観覧席・スクリーン・プロジェクター等
【南館】研修室A・B・C	238.35㎡	(主な設備) スクリーン・マイク設備
【本館】グリーンホールA	120.48㎡	(主な設備) スクリーン・プロジェクター・マイク設備
【本館】グリーンホールB	58.14㎡	(主な設備)
【本館】医局講義室	80.96㎡	(主な設備) スクリーン・プロジェクター・マイク設備

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	医療情報室 室長 (外科系診療部長)
管理担当者氏名	医療情報室 副室長

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		<紹介状等の紙媒体> 電子カルテにスキャンした上で、カルテ室に一定期間保管 <それ以外の記録> 電子カルテ及び各部門システムに保存	紙媒体については、患者毎にファイル保管
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域連携課	
	救急医療の提供の実績	医事管理課	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	教育研修センター	
	閲覧実績	地域連携課	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域連携課	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	
閲覧担当者氏名	
閲覧の求めに応じる場所	病棟・相談室
閲覧の手続の概要	
<p>連携医療機関が当院の診療録の閲覧を必要とする場合には、 連携医療機関から当院の地域連携課に、必要事項を記載した依頼文書を送付する。</p> <p>平成23年以降の実績はありません。</p>	

前年度の総閲覧件数		0件
閲覧者別	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	0件

(様式例第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	2回	
委員会における議論の概要		
<p>備考：</p> <p>今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大抑制を図る観点および厚生労働省からの通知より、令和3年度の委員会は休会とさせていただきました。ただし会議を開催する予定であった令和3年9月、令和4年2月には、委員の皆様にご当院の現況報告と題して統計資料等を郵送させて頂き、当院への御意見を集約いたしました。</p>		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式例第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口 相談室 その他 (病棟)
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	伊澤紀子、稲見一美、大塚美幸、 澤村謙太、牧宏一、大竹久美子、 小林茜、谷藤あきほ、野澤未帆、 白井奏子、東山千夏、芳賀みずほ、 大野咲
患者相談件数	22,547件
患者相談の概要	
<p>別紙参照 (内容別ケース件数)</p>	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(様式第 20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
<p>・評価を行った機関名、評価を受けた時期</p> <p>日本医療機能評価機構3rdG : Ver2.0</p> <p>認定機関（2018年5月18日～2023年5月17日）</p>	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
<p>・情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>・病院ホームページ</p> <p>・連携医向け広報誌「連携だより」（年7回発行）</p>	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
<p>・退院調整部門の概要</p> <p>退院支援課において、退院支援及び相談業務を行っている。</p>	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	<input checked="" type="radio"/> 有・無
<p>・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容</p> <p>「大腿骨パス」「脳卒中パス」「5大癌パス」</p> <p>・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み</p> <p>連携病院と定期的な情報交換等を行っている。</p>	